

一般社団法人 京都大学学士山岳会 事業報告・決算ならびに事業計画・予算  
(案)

1 2021年度事業報告

I 山岳および登山に関する学術調査および研究について(定款第2章第4条第1項)

1. 1979年に設立されたヒマラヤ委員会を適宜開催し、海外高峰への学術登山隊派遣について検討を重ねた。
2. カラコラム、ネパール、中国、ブータン、ヒンズークシおよび南極地域における登山ならびに学術探検に関する研究を継続した。
3. 1973年4月に本会内に設立された旧国際登山探検文献センターで収集された登山探検資料を京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科に寄贈し、文献資料目録を編纂するとともに引き続き資料の充実と収集資料の整理を行った。
4. 会設立から現在まで本会会員が主催または参加した海外遠征の写真、映像資料を集めるAACKアーカイブス事業委員会(委員長:会員松林公蔵)を設けて、資料の整理にあたった。
5. 雲南・チベット地域の総合的研究を目的に2004年に設立された雲南懇話会(代表:会員安仁屋政武)の運営に協力した。
6. 「ヒマラヤという第3の極地」を対象にしたユニークな教育研究組織として2016年に設立された京都大学ヒマラヤ研究ユニットの運営に協力した。
7. 第41回日本登山医学会学術集会の運営に本会会員が協力した。

II 一般社会に対する健全な登山の指導奨励ならびにこれに必要な研究会、講習会および展覧会等の開催について(同第2項)

1. 公益社団法人日本山岳会評議員として会員中山茂樹が、同広島支部長として会員森戸隆男が、同関西支部評議員として会員田中昌二郎が同会の運営に協力し、国内外の登山探検の振興に努めた。
2. UIAA(国際山岳連合)に評議員として松林公蔵がまた会員として中島道郎らが同会の運営にあたった。

Ⅲ 国内、国外における登山および探検に対する企画および協力について(同第3項)

1. 滋賀県東近江市立博物館・科学館西堀榮三郎記念探検の殿堂が2022年から2023年に開催を計画している今西錦司・西堀榮三郎生誕120年記念特別展の調査に会員上田豊, 山岸久雄, 岩坪五郎, 齋藤惇生らが協力した。

Ⅳ 山岳登山に関する図書, 機関誌などの発行について(同第4項)

1. 『2020年度事業報告および収支決算書・2021年度事業計画および収支予算書』を作成し, 公開した。
2. 『AACK Newsletter No. 97~No. 100』の編集・発行を行い, 会員相互の情報交換を図った。
3. 京都大学ヒマラヤ研究ユニットが発行する『ヒマラヤ学誌 第22号』の編集に協力した。
4. 『AACK 時報 第15号』の編集構想をすすめた。
5. 本会の公式ウェブサイト(www.aack.info)を運営し, 本会の歴史や事業活動および社会的貢献について広く情報公開するとともに, 会員および会員外の情報交換の場を提供した。
6. 2011年5月の本会総会で設置が決定されたアーカイブス委員会を中心に資料収集とその整理・デジタル化を進め, 本会の公式ウェブサイト(www.aack.info)内で立ち上げた「AACKの活動アーカイブス」の充実に努めた。

Ⅴ 目的を同じくする国内および国外の団体との連絡ならびに情報の交換について(同第5項)

現地国での登山・学術調査を契機として始まった国外の関係機関との交流をさらに深めた。

(2021年度決算案については別紙参照)